

未来を築く知恵：2030年への挑戦とその先へ

第10回待兼山会議

(国際公共政策コンファレンス)

2025年3月23日, 3月24日

大阪大学 南部陽一郎ホール

参加費：無料 対象：高校生/高専1-3年生



大阪大学

THE UNIVERSITY OF OSAKA



主催：大阪大学大学院 国際公共政策研究科
運営：大阪大学公認団体 学生団体Flagship

詳細は裏面へ



待兼山会議とは

全国の高校生が集い、研究成果を熱く発表する2日間

本会議は2日間にわたって開催され、初日は研究テーマごとに分かれた分科会にて研究発表を行います。大学教授の審査・フィードバックを受けられる点が大きな魅力です。2日目には各分科会から選抜された研究が全体会で発表され、特に評価の高かった研究が表彰されます。また、大学内外からお招きした講師による特別講演を行い、社会課題に関して高校生に新たな視点を提供しています。



特別講演

サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部 副本部長 西脇義記 氏



【高校生へのメッセージ】

皆さん、待兼山会議への参加を心より歓迎します。
サステナビリティは私たちの生活に密接しています。
この会議での議論を通して、新たな視点を得て、行動に繋げる
きっかけを作ってほしいと思います。未来のために何ができるか、
皆さんと一緒に考えられることを楽しみにしています。

応募締切:2025年1月5日(日)

研究発表の内容をまとめた事前課題を提出していただくことが必要です。
詳細は公式ホームページをご確認ください。

【連絡先】大阪大学公認団体 学生団体Flagship



flagshipoct12021@gmail.com



公式HP



Instagram

2024年11月吉日

第10回待兼山会議(国際公共政策コンファレンス) 募集要項

主催:大阪大学大学院国際公共政策研究科

I. 本会議について

大阪大学大学院国際公共政策研究科では、高校生を対象に社会の諸課題の打開や解決に向けての研究成果を発表する場として「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」を開催しております。本研究科は2015年より高次の探究活動に取り組む高校生に活躍の場を提供してきており、今回で10回目の開催を迎えます。本行事では、高校生による探究活動の発表に加え、社会課題に関する特別講演などのプログラムも企画しています。

こんにち、世界と私たちの繋がりは更に密接なものとなり、生活に多大な変化を及ぼしています。2015年の国連サミットでは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全加盟国の合意で採択されました。またここ大阪の地では、「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念を実現する場である「いのち輝く未来社会」のデザインをテーマに2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が4月より開催され、人類共通の課題の解決に向けて新たなアイデアを創造・発信する場にすることがコンセプトとして掲げられています。その一方で、SDGsで示された17のゴールを2030年までに達成することを目指すなか現在その折り返し地点を迎えていますが、日本の達成度が不十分と評価されるものが多く存在しています。また、国際的にも、地球環境や食糧、人権など様々な分野において、国境を越えた協力と連帯が要請される問題が山積しています。さらに、パレスチナ・ガザ地域におけるイスラエル軍とイスラム組織ハマスとの戦闘や、ロシアによるウクライナ侵攻などの政治的な問題も依然として終結の目途が立っていません。

これらの諸課題に対処するには、社会課題に対する強い関心はもとより、その本質を見極める能力や諸分野の知識・手法を横断的に駆使する公共政策的なアプローチ、文化や立場を超えて相互に理解を深める共感、そしてコミュニケーション能力等が求められます。

私たちの社会を見つめ直してそこに存在する諸課題を自分事として捉え、その打開や解決のための能力と発信力を身に着けると共に、将来の新たな世界を切り拓くリーダーとなる高校生同士で刺激を喚起し、ネットワークを作り出すことを目的に本会議を開催しております。

ぜひ奮ってご応募ください。

II. 本会議のテーマ

「2030年を達成の年限とする持続的な開発目標(SDGs)の実現とその後の社会を見据えた、国際的な問題の分析とその解決策」

2030年までに達成することを目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の17のゴール・169のターゲットを念頭に、社会の諸課題に対する現状分析、先行研究の紹介にとどまらず、それらに基礎付けられた**具体的かつ論理的な解決策を提示する研究**が求められます。

審査においては以下の審査基準を基に多角的に評価します。

「課題の重要性・問題意識」:

当該課題を取り上げることの重要性・意義、その課題に対する問題意識(説得的なものであること如何を問題にしない)が明らかであるか

「新規性・独自性」:

主張される結論・提言の内容に独自性があることを問う
(重点が先行研究の分析にあっても結論・主張に新規性があればよい。)

「方法論」:

因果・比較、比較対象の適当さ

「論理性」:

仮説と結論の一致、論理の飛躍はないか、主張の一貫性、全体の流れ

「論拠の的確性」:

論文の全体構成において、自身の結論に対する合理的な根拠づけ・サポートができているか。
(引用するデータが主張・説明をサポートするための重要な情報であること。)

「実現可能性」:

主張が実現可能であるか、あるいはその可能性が十分に見込めるかについての考察がなされているか。(資金面・運営面などについて考察がなされているか。)

III. 概要

日程	2025年3月23日(日)～24日(月)
開催形式	対面開催 (場合によってはオンライン参加を認めます。 詳細はVI. <u>申し込みについて</u> をご参照ください)
会場	大阪大学豊中キャンパス
スケジュール (予定)	○3月23日(日)10:00～18:00(目安) ● 開会式 ● 分科会(高校生による発表) ● 交流会・結果発表 ○3月24日(月)9:00～17:30(目安) ● 全体会(各分科会の代表による発表) ● 特別講演 -サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部副本部長 西脇 義記様 ● 閉会式(表彰、全体講評) ● 懇親会(自由参加)

表彰・参加証等	参加者には本研究科より参加証明書を発行します。 また、全体の中から優秀な発表を表彰します。 その他、全ての発表について審査員による講評を予定しています。 本大会では朝日放送テレビ株式会社様より、優秀な発表に対して2025年5月に開催される「Q-1 U-18が未来を変える★研究発表SHOW 2025年大会」セミファイナルへの出場権が付与されます。 ※申込書において出場意思の確認を行っておりますが、付与が決定した際は改めて確認いたしますので、現時点でのご希望をお書きください。 応募段階での出場意思の有無は一次審査、および付与を決定する当日審査において、一切影響いたしません。 「Q-1」についての詳細は以下のURLより、番組公式ホームページをご覧ください。 https://www.asahi.co.jp/q-1/
参加費	無料 遠方から参加の場合、参加者1人当たり交通費・宿泊費補助として5,000円を支給いたします。 なお、補助金支給の可否については所属高校と会場との距離によって判断いたしますので、支給対象とならない場合がございます。予めご了承ください。 なお、可否の決定に関しては採否通知の際にお知らせします。
見学	無料 見学は対面・オンライン併用で行い、全てのプログラムをご見学いただけます。 対面での見学は、参加者の保護者の方、全ての高校・高専教員の方、高校生、1-3年の高専生のみ対象となります。 オンラインでの見学は、全ての方が対象です。 見学者の募集は1/20(月)から開始いたします。 HPにて募集情報を公開いたしますので、今しばらくお待ちください。

IV. 申し込みについて

参加資格	高校生もしくは1～3年生の高専生(2025年3月時点) 全日対面参加を原則とします。 ただし、海外からの参加など、特別な事情のある場合はオンライン参加を認める可能性があります。その場合は当団体までお問い合わせください。 また、交通機関などの事情による遅刻、早退についても対応いたしますので、参加申込書の備考欄に目安到着時間をご記入ください。
発表人数	個人、チームを問いません。 ただし、チームで発表する場合は、1チーム最大6人までとします。 (同一の高校から複数の個人、チームが参加する事は可能です。)

発表内容	2030年を達成の年限とする持続的な開発目標(SDGs)の実現とその後の社会を見据えた、国際的な問題の分析とその解決策 *表彰者の発表については、概要を外部向けに公開する可能性があります。
発表形態 (予定)	スライド等を用いた口頭発表(20分)+質疑応答(20分)の計40分 なお、口頭発表の時間は 最低15分 とします。
使用言語	日本語または英語
一次選考	申し込みの際に提出していただく下記の研究についての論文に従って、運営役員が審査を行います。
申し込み方法	以下に従って、参加申込書、研究論文をメールでご提出ください。 1. 宛先:flagshipoct12021@gmail.com (学生団体Flagship) 2. 件名:「学校名・代表者氏名」 ・参加申込書 下記のURLまたはQRコードからHPにアクセスし、【申し込み】ページから参加申込書をダウンロードし、PDF形式で提出してください。 提出の際、ファイル名は「学校名・参加者氏名」に変更をお願いします。 グループで参加の場合は、記入後にPDF化したうえ、代表者がメンバー全員分を取りまとめて提出してください。 ・研究についての論文 1)ファイル形式:PDF形式 2)ファイル名:「学校名・代表者氏名」 3)論文の構成 A. 表紙(1ページ目) a. 研究のタイトル b. 高校名 c. 執筆者名(チーム発表の場合はそのすべてのメンバー) B. 本文 ・2000字以上(タイトル・副題・参考文献を含まない) ・本文は章立てをして記載してください。 ・先行研究を引用する際は、脚注を付ける、「」で囲むなどして引用部分が分かるようにすること。引用元を示さないコピー・剽窃は禁止します。 ・研究にあたり参照した情報・先行研究等については、下記を参照しつつ「参考文献」として研究の末尾にまとめて記載すること。 ・その他の引用方法に関する詳細は下記を参照し、正しく引用すること。 堀一成 坂尻彰宏、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門 -「学問への扉」に備えて-』、大阪大学 全学教育推進機構、2023年4月第4版第5刷発刊 https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71454/2023academicwriting.pdf 「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP: https://osippconference.wixsite.com/conference 

申込受付期間	2024年11月21日(木)～2025年1月5日(日) 必着
採否通知	2025年1月20日(月) 12:00

V. 問い合わせ先

学生団体Flagship (大阪大学公認団体)

Email: flagshipoct12021@gmail.com

VI. 今後のお知らせ

HP及び各種SNSにおいて、最新情報を配信する予定です。

・「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP:

<https://osippconference.wixsite.com/conference>

・学生団体Flagship Instagram イベントアカウント(@ou_flagship.event):

https://www.instagram.com/ou_flagship.event/

・学生団体Flagship X(旧Twitter) イベントアカウント(@flagship_event):

https://x.com/flagship_event

・学生団体Flagship Facebook:

<https://m.facebook.com/100082112107057/>